



多くの特攻隊員を見送った 鹿屋市の戦争の歴史

KANOYA's War History

おすすめルート(約3時間)

1 2 3 4 5 鹿屋基地コース

1 2 3 4 5 串良・笠野原コース

5 鹿屋航空基地史料館

旧海軍創設期から第二次世界大戦、現在の海上自衛隊の活動に至るまでの貴重な資料が展示されています。



零式艦上戦闘機五二型(復元機)



世界に1機しかない二式大型飛行艇

所在地 鹿屋市西原3丁目11-2 (入館は16:30まで)
電話 0994-42-0233 時間 9:00~17:00
休館日 12/29~1/3 入場料 無料



飛行場誘致に尽力した
初代鹿屋市長
永田良吉氏

大始良村議会議員時代の正6年に、「これからの戦争は飛行機が勝敗を決める」と直感し、この場所への民営飛行場の開設(大正11年)や鹿屋海軍航空隊の開設(昭和11年)に尽力したことから、「ヒコーキ代議士」と呼ばれました。終戦後は、鹿屋市の代表として進駐軍との折衝にあたりました。



1 高須トーチカ

高須海水浴場に、アメリカ軍の本土上陸に備え、監視するために作られたトーチカ(築地)です。コンクリートの骨組みは、海洋方向に向けられています。



3 桜花の碑・野里国民学校跡

戦争末期、人間爆弾「桜花」を使って特攻を行った神雷部隊は野里国民学校を据営していました。特別攻撃隊員たちが別の命を交わした地に立つ「桜花の碑」には、当時報道班員として神雷部隊と生活をともにした作家・山岡荘八氏の書が刻まれています。



4 小塚公園

(旧鹿屋航空基地 特別攻撃隊戦没者慰霊塔)
公園の一角に、豊里基地から出撃し命を落とした特別攻撃隊員の功績を記す慰霊塔があります。塔には、特攻戦死者908名(隊員17名を含む)の名前が刻まれています。



3 串良平和公園

串良基地にあった当公園には、現在は塔が構想されている。この塔の所在地は、阿蘇山から飛び立った戦死した特別攻撃隊員363名及び一般攻撃隊員210名を祀る慰霊塔があります。

串良平和公園

B 地下壕電信室

串良基地から飛び立った特別攻撃隊員たちの短時間の通信を受信していた地下壕です。2か所の出入口は、嵐風の侵入を防ぐためコンクリート土留が施されています。



4 串良基地跡地下壕電信室

串良基地から飛び立った特別攻撃隊員たちの短時間の通信を受信していた地下壕です。2か所の出入口は、嵐風の侵入を防ぐためコンクリート土留が施されています。



1 笠野原基地跡地下道入口

滑走路や司令部に設置されていたと言われるコンクリート製の地下道入口が残されています。



2 川東掩体壕

川東掩体壕は、この地に唯一残る有蓋掩体壕で、零式艦上戦闘機が入っていたと言われています。掩体壕とは、敵機の空襲等から航空機や物資を守るためのものです。

進駐軍上陸地

鹿屋体育大学海洋スポーツセンター

高須トーチカ

高須出張所

大隅野里駅跡

霧島ヶ丘公園(かのやばら園)

田崎掩体壕

星塚敬愛園

第二鹿屋海軍航空隊の碑

吾平総合支所 鵜戸神社 湯遊ランドあいら

川東掩体壕

笠野原基地跡 地下道入口

笠野原基地跡 地下道入口

みどりの停車場 串良ふれあいセンター 串良総合支所 串良さくら温泉 下小原池公園

笠野原基地跡 地下道入口

大塚山公園

笠野原基地跡 地下道入口

リナシティかのや 県民健康プラザ

笠野原基地跡 地下道入口

鹿屋運動公園

笠野原基地跡 地下道入口

第五航空艦隊司令部壕跡

鹿屋市役所

「鹿屋には3つの基地があった」



鹿屋基地

A 日本で最も多くの特攻隊員が飛び立った場所

鹿屋海軍航空隊は、昭和11年に開隊。戦争末期には、陸海軍の特攻作戦を指揮する第五航空艦隊司令部が設置されるなど、まさに特攻作戦の中心でした。昭和20年3月11日、梓特別攻撃隊が鹿屋基地から初めて出撃。また、3月21日には、人間爆弾「桜花」を積んだ神雷部隊が出撃するなど、多くの尊い命が特攻作戦によって失われました。



串良基地

B 予科練から特攻最前線基地へ

串良基地は、太平洋戦争末期に教育航空隊として開隊され、約5千名の飛行予科練習生の飛行訓練等に使用していました。しかし、戦況の悪化に伴い、昭和19年には実戦部隊に編入され、昭和20年3月からは特別攻撃隊の基地として使用されました。昭和20年8月15日の終戦を迎えるまでに、363名の特別攻撃隊員と210名の一般攻撃隊員が串良基地から飛び立ち、若く尊い命を失いました。

基地であり、滑走路だった!



笠野原基地

「笠野原飛行場」は、大正11年に民間飛行場として誕生。昭和16年の真珠湾攻撃に参加した第2航空戦隊艦爆撃隊も使用していたとされています。昭和20年3月18日、米軍による集中攻撃を受け、格納庫など基地施設が壊滅的な被害を受けました。終戦後は、農地として無償で払い下げられ、基地施設があった場所は住宅地に、滑走路があった地区は農地となりました。ここを建設中には、滑走路のコンクリート片が出土しました。



鹿屋平和学習ガイド

市内に残る戦争遺跡をご案内します。詳しくは、鹿屋市観光協会HP又はお電話(☎0994-41-7010)でご連絡ください。

鹿屋市観光協会 検索!!



〔問合せ〕鹿屋市ふるさとPR課 0994-31-1121